

応用手順

応用演技① お菓子の变化

紙袋の中のお菓子が、別のものに変化してしまいます。

【解説】

袋にお菓子を適量入れ、その上に透明板を被せ、その後ろに変化させたいものを隠します。この時、なるべくお菓子を窓側に寄せて、隠したものが見えないようにしてください(図3)。これで準備は完了です。紙袋を素早くひっくり返すと、お菓子は透明板に引っかかり落下せず、お菓子の後ろに隠したものだけが落下します。紙袋は逆さのままテーブルの上などに置き、落下してきたものを示して、演技を終了します。

図3

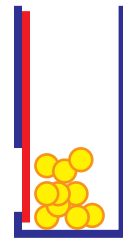
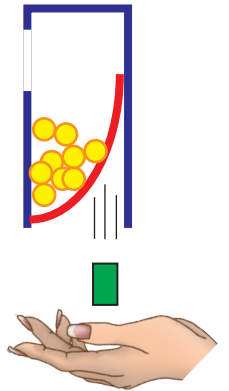
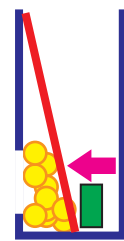


図4



応用演技② 消失するお菓子

紙袋の中にお菓子が入っています。紙袋を逆さまにしますが、お菓子は落ちて来ません。紙袋の下からペンを入れて完全に消えてしまったことをアピールしますが、再びお菓子が現れます。

図5

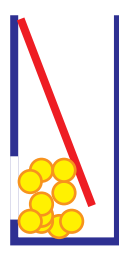


図6

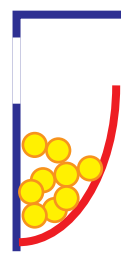
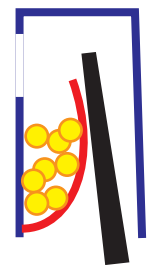


図7



【解説】

袋にお菓子を適量入れ、透明板をお菓子の上に斜めに被せます(図5)。これで準備は完了です。紙袋を下からつかむようにして持ち、素早くひっくり返します。その際、お菓子を手の平で受け止めるようなジェスチャーをします(図6)。お菓子は透明板に引っかかり、落ちてきません。下の手をゆっくりと紙袋の口から離し、お菓子が落ちてこない事を示した後、紙袋と透明板の間にペンを通して、窓からペンを覗かせます(図7)。こうすることで、お菓子が完全に消失したように見えます。おまじないをかけるジェスチャーをしながら、紙袋を図5の状態に戻すと、再びお菓子が出現します。最後に、紙袋に手を入れて透明板を紙袋の窓側に戻し、お菓子を取り出します。袋の中をあらためて演技を終了します。

～ポイント～ お菓子の量が多いと、図6のときにお菓子が窓から見えたり、重さに耐えきれず落ちてしまう可能性があるがあるので、量は調節してください。角度によっては隠れたお菓子が見えてしまう可能性があるがあるので、観客の目線の高さに注意しながら演じてください。

☆演技例☆

- ・子供から借りた帽子にお菓子を入れプレゼントするが、再び袋の中に戻ってしまう。
- ・マジシャンが紙袋の下で大きな口を開けて、お菓子を一瞬で全部食べてしまう。
- ・お菓子の出現→箱に入れるを繰り返す。最後に箱の中を見ると、大量のお菓子が・・・